

平成30年度リーガテラス京都洛西小規模多機能型居宅介護
サービス評価
【公表集】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 宇野、松尾、美馬、吉井、久保、則武

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	4			6
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	2	1		6
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	3			6
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	4			6

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

新規の問い合わせがあった時点から、知りえた情報を〇〇様メモとして職員に伝達している。ご家族の状況(仕事・体調面・別居等)も把握し、通いを中心としたサービスに宿泊サービスを加えたり独居の方に対しては送り出し訪問サービスを加える等、状況に合わせた適切なサービスを提供できている。まだ登録者数が少ないこともあり、一人ひとりに関わりの時間を多く持て、話を傾聴できている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

サービスご利用中に知り得た細かな情報(例えば、職員が関わりの中で気づいた本人の思いや不安等)を、タイムリーに職員間で共有できていないことがある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

ご利用前の初期支援のための情報伝達をメモ等の書面だけではなく、ミーティングにて行う。ちょっとしたご利用者の変化や気づき(サービスを利用し始めの慣れない環境下での本人の思いや不安等)を後回しにせず、その場その時に職員間で共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月15日 (13:00～15:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 宇野、松尾、美馬、吉井、久保、則武

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	3	1		6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	4			6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	3	1		6
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	2	3		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
居宅サービス計画書や小規模多機能型サービス計画書等のケアプランの目標に沿ったかかわりができている。 日々の関わりの中で、ご利用者がやりたいことを聞き出し、職員間で共有し、できるかぎり実現に向けての対応をしている。(例：喫茶店でお茶をする。行きつけの美容室でカットをする。たまにはサンドイッチを作って食べたい等々) レベル的には本人の楽しみに対しての～したいの実現は出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
関わりの実施前から実施までの状況は、職員間で共有できているが、実施後の振り返りはできておらず、次の対応に活かされてない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ご利用者の「～したい」という当面の目標に対する関わりを1度限りで終わることなく、継続していき、必ず、振り返りを行い、次回の関わりに役立てるようにする。また本人の楽しみを満たす～したいの実現だけでなく、生活していく上での機能の向上を目指した～したいの実現 (例：今よりも少しでも長い距離を歩きたい等) にも取り組んでいく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月15日 (13:00~15:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 宇野、松尾、美馬、吉井、久保、則武

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	3		6
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	3			6
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	3	2		6
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	5			6
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	5			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用者の体調の変化に応じた、介助のやり方はできている。 →食事の自力摂取から状況を観て(箸が止まる)介助の実施・入浴の一般浴から状況を観て(下肢力の低下や立位の不可等)機械浴に変更等 一見、自立支援とは相反するやり方かもしれないが、体調の変化を見過ごし、無理に自立を促すことは、自信の喪失にも繋がるため、見極めが重要になる。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ご本人の生活歴は初期支援時にご本人やご家族から聞き出しているが、状況によっては十分に把握することができないこともある。 生活歴に対してご本人やご家族からの聞き取りの不十分から、ご本人の「以前の暮らし方」を10個以上把握できていない職員が多い。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 初期支援時のご家族との関係性を大切にする。(話しやすい環境づくり、リラックスした雰囲気づくり)
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月15日 (13:00~15:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 宇野、松尾、美馬、吉井、久保、則武

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	4	1		6
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	2	3		6
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	1		6
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	5		6

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
初期支援時に、ご本人やご家族に聞き取れる範囲での生活歴や、現在の過ごされ方を把握している。今まで行きつけにされている地域の店や馴染みの場所への継続した関わりを支援している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご家族との関わりにとどまり、地域でどのように暮らしてきたか、またこれからの関わりをどのように築いていくかが課題である。
ご家族以外に本人を身近で支えたり心配してくれる方々の存在を把握し、生かしていくことが本人を支えていく上で大切な要素となる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
概ね2か月に1回開催している、運営推進会議の参加者が少なく、今後民生委員さんや老人福祉委員さんにも参加を依頼する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月15日 (13:00~15:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 宇野、松尾、美馬、吉井、久保、則武

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	2	3		6
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	3			6
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	3	2		6
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	4			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
通い・訪問・宿泊は、ご本人やご家族の生活状況を把握し、希望と必要性を合わせ、場合によっては職員の勤務調整を行いながらニーズに応じて柔軟に対応できるように努めている。 地域のボランティアを施設に招待し、楽しむ一時を頻繁に行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の変化に気づき、その時にいる職員には状況を伝達、共有出来ているが、参加していない職員に情報が的確に伝わっていないことがある。 事業所自体がまだ地域の資源を把握しきれていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
全ての職員が共有できる連絡ノートやケア記録の活用方法の再検討を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月15日 (13:00~15:00)

6. 連携・協働

メンバー 宇野、松尾、美馬、吉井、久保、則武

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		2	3	1	6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1	4	1	6
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		3	3		6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		2	2	2	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 年2回の消防訓練や地域包括支援センターが主催する地域ケア会議に参加している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること その他のサービス機関との会議には、管理者やケアマネージャーが参加しており、介護職員が参加する機会があまりない。 昨年の夏、夏祭りを開催したが、外部からはご家族等の身内の方のみの参加に留まり、近隣地域にお住いの方々参加はなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 職員が地域のイベントや会議に順番に参加できるようにする。 近隣地域の方々に気軽に足を運んでいただけるような機会を考案していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月15日 (13:00~15:00)

7. 運営

メンバー 宇野、松尾、美馬、吉井、久保、則武

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	2	2		6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	1		6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	1	3	1	6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	1	3	1	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用者やご家族からの意見や要望は、管理者を含めた職員全員で共有し、出来る限り運営に反映するようにしている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること まだ、地域の方々からご意見をいただける状態には至っていない。まずはご近所の方々から施設が地域にとってどのような役割ができるのかを考案し発信していく。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 運営推進会議を活用し、地域における施設の役割についての意見交換を行う。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月15日 (13:00~15:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 宇野、松尾、美馬、吉井、久保、則武

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		3	3		6
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		3	2	1	6
③	地域連絡会に参加していますか		2	2	2	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		3	2	1	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 毎月テーマを決め、施設内研修を実施している(テーマによっては外部から講師を招いて行っている)。 外部研修では、管理者研修や介護支援専門員更新研修に参加しスキルアップに努めている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 施設内研修は勤務時間内に開催されるので、どうしても業務が優先され参加者が少ない。 積極的に外部研修に参加する職員が少ない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 研修(内外共に)に参加できる勤務体制を考える。 スキルアップのための外部研修の情報を入手し、職員に提供する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年12月15日 (13:00~15:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 宇野、松尾、美馬、吉井、久保、則武

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	1			6
②	虐待は行われていない	5	1			6
③	プライバシーが守られている	5		1		6
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	1	2		6
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	2			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 個人情報とは個々に一冊のファイルにまとめて鍵に掛かる棚で管理している。 身体拘束や虐待、プライバシーに関しては、職員が一人ひとり目的意識を持って対応している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 成年後見制度を利用されている方が現時点ではおられないので学習する機会がない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 定期的に研修(身体拘束・虐待・プライバシー)を行い、自身のケアを振り返る機会を作る。 今後、成年後見人制度を利用される方が来られることを想定し、制度を学習する。
---------------	---

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社リーガル不動産	代表者	平野哲司	法人・事業所の特徴	京都市内でも静かな環境の洛西地域に立地しており、地域住民との距離が近く、積極的に地域のボランティアなどに来ていただいている。また、施設内に併設しているグループホームとの連携も密に行っており外出レクや施設内レクなどでのご利用者間の交流もある。職員の育成に関しては、実践者研修や管理者研修等、事業所から積極的に受講を勧めていたり、毎月内部研修も行い、職員のスキルアップに努めている。
事業所名	リーガテラス京都洛西	管理者	宇野英明		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	人	1人	2人	人	4人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			本人(ご利用者)の～したいの実現のためには、職員間でしっかりと振り返りを行い、また後回しにはせずその場で話し合うように。	運営推進会議に参加してくださった方々からの意見の中で、振り返りを後回しにせずその場での言わば小さく振り返ることの必要性を実感し、実施していきます。
B. 事業所のしつらえ・環境			事業所やフロア内は陽も良く当たり明るく過ごしやすい環境である。	今後も清潔で居心地の良い空間作りを継続していきます。駐車場にある花壇にはご利用者や地域の方が季節感を味わえるような花を植えたり野菜を栽培します。
C. 事業所と地域のかかわり			職員は挨拶出来ている。最近新しい事業所が沢山出来ているが、事業所の存在は分かっている、何をしているところ(小規模多機能とは?)かを理解されていない感がある。	高齢者施設という地域の方からの認識に留まらず、自事業所がどのようなことをしているのかを知って頂く機会を作り認知度を上げていきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			地域の行事やイベントに参加しているかどうかは、事業所からの活動報告を聞いてからの判断になるので、事前にチェックを入れるのは難しい。	ご家族を始め、運営推進会議に参加して頂いている方々に地域との関わり(地域に出向く・地域を招く)の報告を適宜行います。
E. 運営推進会議を活かした取組み			運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか?の項目に関しては、事前に議題として載せておき、地域包括支援センターから困りごとを抱えながら在宅生活をされているようなケースを提案していただきサービス支援に繋がれるようにしていく方向に持っていければいいのでは。	町内会や地域包括支援センターから地域の課題(一人暮らし・認知症徘徊等)を議題として掲げ、地域の支え合いの中での自事業所の役割(出来ること)を見つけていきます。

F. 事業所の 防災・災害対策			現在の福祉避難所は市が通知した人のみが見える避難所であり自由に逃げ込める場所ではない。 運営推進会議の参加者（メンバー）は変動することもあるので、事業所の防災計画は配布していただきたい。	運営推進会議のメンバーに、事業所の防災計画を配布するとともに、年2回実施している消防署を招いての消防・避難訓練に参加して頂くように働きかけます。
--------------------	--	--	--	--